



せいぶつ た ようせい

# 生物多様性とは、 どういうことだろう？



沖縄県の自然の中には、やんばるや西表島の森林、渡り鳥が飛んでくる泡瀬干潟、石西礁湖に広がるサンゴ礁などの多様な環境があり、その環境に合った生きものたちが暮らしています。多種多様な生きものがお互いつながり合いながら生きていることを「生物多様性」と言います。しかし、地球環境の変化や開発、化学物質、外来種など、生物多様性をおびやかす問題が沖縄県でも起きています。人間もそのつながりの中で生きているため、生物多様性が失われると、私たちの暮らしも成り立たなくなってしまいます。生きものと一緒に暮らしていけるよう、一人ひとりが考え、行動しなければなりません。

## 沖縄県の多様な自然に暮らす生きものの例



3・4年生

- 道徳 自然愛、動植物愛護 / 公德心 / 生命尊重
- 特別活動 遠足・集団宿泊の行事
- 理科 季節と生物 / 身近な自然の観察 / 昆虫と植物

5・6年生

- 道徳 自然愛・環境保全
- 特別活動 遠足・集団宿泊の行事
- 理科 生物と環境 / 土地のつくりと変化
- 社会 森林資源の働き / 我が国の国土の自然などの様子

## 沖縄の生きものに危機がせまっているの？

動物や植物で、いろいろな原因で数が減っており、近い将来に絶滅のおそれのある種を「絶滅危惧種」と呼んでいます。ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなども指定されています。沖縄県の絶滅のおそれのある生きものは、植物の仲間では1,023種、動物の仲間では991種、合わせて2,014種にもなり、多くの生きものの生息が危険な状態にあります。世界で沖縄県だけに暮らす生きものが絶滅してしまった場合、地球上から姿を消すことになります。この貴重な生きものたちが減っている原因として、暮らす場所がせまくなったり、もともといなかった生きもの（外来種）が住むようになってきたりすることで、数が減ってしまうことがあります。それだけではなく、人の暮らしが変わってくることで、例えば地球温暖化など、世界全体の問題が原因になることもあります。

沖縄県では、これらの貴重な生きものをこれ以上減らさないよう、レッドデータブックで種を指定して、保護に努めています。

沖縄県の絶滅危惧種の例



## 固有種ってなんだろう？

植物、動物の名前に「ヤンバル」「リュウキュウ」「オキナワ」「ヤエヤマ」などがついている種があるのを知っていますか？それは、その種が住んでいる地域をあらわしていて、これらの種を「固有種」と呼びます。沖縄県には、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類で245種、昆虫類、淡水甲殻類で396種の固有種がいます。



## 外来種って何だろう？

外来種とは、人の活動によって他の地域から持ち込まれた生きもののことを指します。長い時間をかけて築き上げられた沖縄県の島々の生態系に、それまでいなかった外来種が入り込むと、もともといた生きものすみかを奪ったり、生きものを食べたりして、絶滅してしまう生きものが出てくるかもしれません。一度住み着いてしまった外来種が完全にいなくなるようにすることはとても大変な作業です。私たちは外来種がもたらす問題に関心を持つことが必要です。

## 沖縄にはどんな外来種がいるのだろう？

ハブを退治すると考えられて持ち込まれたマングースや、さとうきびの害虫を食べさせるために持ち込まれたオオヒキガエル、ペットとして飼われていたのが逃げ出したグリーンアノールなどが沖縄県の代表的な特定外来生物です。最近では、クモやアリなどの外来種が入ってきています。また、外来種は動物だけではなく、植物にも自然に悪影響をもたらす種が多くあります。

特定外来生物とは、もともとその土地にいなかった種で、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定された生きものを指します。

### 沖縄県内に生息する特定外来生物の例

マングースは、明治時代末（1910年）に、ハブや野ネズミの退治のため、バングラデシュから連れてこられました。最初は、那覇市周辺に十数頭が放されましたが、数が増え続け、だんだん北へ広がって貴重な生きものが暮らすやんばるにも住み着くようになり、ノグチゲラやアカヒゲ、キノボリトカゲなどが食べられるなど、大きな問題になっています。

#### グリーンアノール



アメリカ原産のトカゲで、大きいものは20cm程度です。沖縄本島と座間味島に持ち込まれています。もともからいる昆虫類が餌となり、減ることが心配されています。

#### ボタンウキクサ



アフリカ原産の水辺の植物で、高さは10cmほどです。日本には1920年代に観賞用として沖縄県と小笠原に持ち込まれました。水面を覆いつくして水辺の環境に影響があるとされています。

#### マングース



#### 今後侵入する可能性のある生物

#### ヒアリ



南米原産のアリで、体長2～6mmほどで小さく赤茶色をしています。沖縄県ではまだ確認されていません。人が刺されると重症を負うこともある危険なアリです。

## 大切な生きものを守るチャレンジ！

沖縄県の多様性に富んだ大切な生きものが暮らす環境を守るために、私たちはどんなことができるでしょうか？みんなの力で、自然がもっと元気になることにチャレンジしましょう。

### ペットも大切な友達。最期まで大切に飼おう！

森の中や川にペットを捨ててはいけません。野生の生きものに被害をもたらすことがあります。ペットは責任を持って、最期まで飼いましょう。



### 外来生物を自然の中に捨てない！

外来生物の中には、もともといる貴重な生きものを餌にしたり、住む場所をうばう種があります。飼えなくなったからといって、自然の中に捨ててはいけません。

### 自然観察はマナーを守って、自然に優しく！

野生の生きものに餌を与えたり、餌になるような食べ残しはきちんと持ち帰りましょう。また、鳥のひなを見かけても拾わないで。親鳥が遠くから見えています。



### 自然の中では、車の運転に気をつけよう！

車のスピードの出しすぎで、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなどが交通事故にあっています。車の運転マナーを守るとも、貴重な生きものの保護になります。

### 自然に触れて、自然を学ぼう！

自然の中で遊んだり観察することで、生きものや生態系のこと、人と自然のかかわりを学ぶことができます。自然観察を通してわかったことをみんなで話し合ったり、自然を守る活動に参加したり、私たちができることを考えましょう。そして、みんなで協力して、かけがえのない沖縄県の貴重な自然を守りましょう。

